

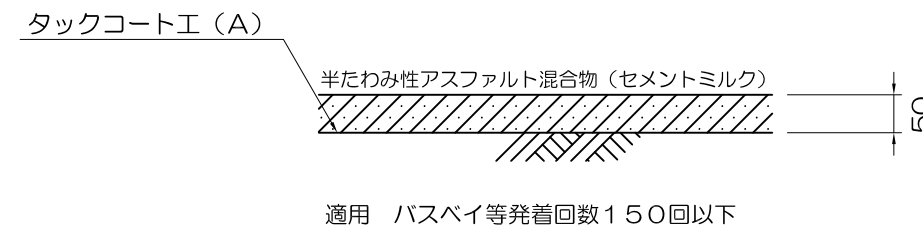
車道半たわみ性舗装 (t=5cm)

大分類	中分類	小分類	変数	作成年度
5000	SHTA	5	T=	H.25
舗装工	車道半たわみ性舗装	カバー 切削カバー	使用機械	

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数 量	A	B	C	備考
				使用機械			
表層工	半たわみ性アスファルト混合物	50	0.104 (t/m ²)	☆ ○ □ ◎	▽ ◎ ◎	× ▼	セメントミルク 12.6 l /m ² (早強) タックコートA (0.8 l /m ²)

(注) Aは舗装幅3.0m以上の場合に適用する
 Bは舗装幅3.0m未満の場合に適用する
 Cは舗装幅1.4m未満の場合に適用する(人力施工)

舗装構造図



(注) 使用機械の凡例

- | | |
|--------------------------------|-------------------------|
| ☆ : アスファルトフィニッシャ全自動 (2.4~6.0m) | □ : タイヤローラ (8~20t) |
| ▽ : 小型アスファルトフィニッシャ (1.4~3.0m) | ◎ : 振動ローラ (コンバインド型3~4t) |
| ☒ : ブルドーザ (3t) | ▼ : 振動コンパクタ (90R) |
| ○ : ロードローラ (10~12t) | × : タンパ (60~100kg) |

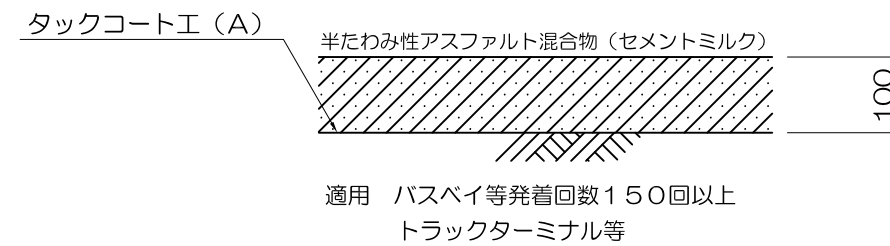
車道半たわみ性舗装 (t=10cm)

大分類	中分類	小分類	変数	作成年度
5000	SHTA	10	T=	H.25
舗装工	車道半たわみ性舗装	カバー 切削カバー	使用機械	

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数	A	B	C	備考
				使用機械			
表層工	半たわみ性アスファルト混合物	100	0.207 (t/m ²)	☆ ○ □ ◎ 50	▽ ◎ ◎ 50	× ▼ 50	セメントミルク 25.2 l /m ² (早強) ●タックコートA (0.8 l /m ²)
				☆ ○ □ 50	▽ ◎ 50	× 50	

(注) Aは舗装幅3.0m以上の場合に適用する
 Bは舗装幅3.0m未満の場合に適用する
 Cは舗装幅1.4m未満の場合に適用する(人力施工)

舗装構造図



(注) 使用機械の凡例

- | | |
|--------------------------------|-------------------------|
| ☆ : アスファルトフィニッシャ全自動 (2.4~6.0m) | □ : タイヤローラ (8~20t) |
| ▽ : 小型アスファルトフィニッシャ (1.4~3.0m) | ◎ : 振動ローラ (コンバインド型3~4t) |
| ☒ : ブルドーザ (3t) | ▼ : 振動コンパクタ (90R) |
| ○ : ロードローラ (10~12t) | × : タンパ (60~100kg) |

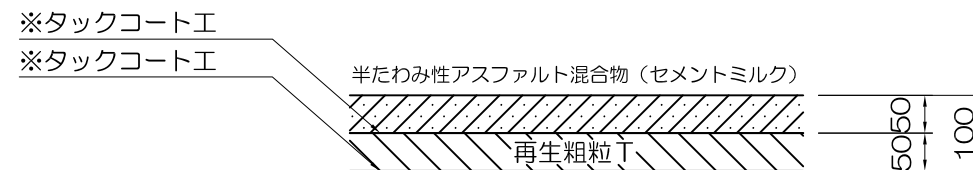
車道半たわみ性舗装 (t=5+5cm)

大分類	中分類	小分類	変数	作成年度
5000	SHTA	10	T=	H.25
舗装工	車道半たわみ性舗装	カバー 切削カバー	使用機械	

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数 量	A	B	C	備考
				使用機械			
表層工	半たわみ性アスファルト混合物	50	0.104 (t/m ²)	☆ ○ □ ◎	▽ ◎ ◎	× ▼	●セメントミルク 12.6 l /m ² (早強) ※タックコート
基層工	アスファルト混合物 (再生粗粒)	50	0.126 (t/m ²)	☆ ○ □	▽ ◎	×	※タックコート

(注) Aは舗装幅3.0m以上の場合に適用する
 Bは舗装幅3.0m未満の場合に適用する
 Cは舗装幅1.4m未満の場合に適用する (人力施工)

舗装構造図



(注) 使用機械の凡例

- | | |
|--------------------------------|-------------------------|
| ☆ : アスファルトフィニッシャ全自動 (2.4~6.0m) | □ : タイヤローラ (8~20t) |
| ▽ : 小型アスファルトフィニッシャ (1.4~3.0m) | ◎ : 振動ローラ (コンバインド型3~4t) |
| ☒ : ブルドーザ (3t) | ▼ : 振動コンパクタ (90R) |
| ○ : ロードローラ (10~12t) | × : タンパ (60~100kg) |

- ※ タックコート工 : アスファルト乳剤 (PK-4)
- ・交通開放する場合 : 0.8 l /m²
 - ・汚さずに数日後表層を舗設する場合 : 0.4 l /m²
 - ・アスファルト系下層の上に連続して舗設する場合 : 0

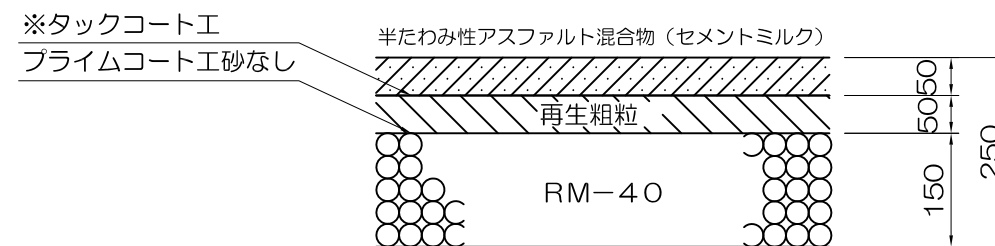
車道半たわみ性舗装 (t=5+20cm)

大分類	中分類	小分類	変数	作成年度
5000	SHTA	25	T=	H.25
舗装工	車道半たわみ性舗装	40型用	使用機械	

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数	A	B	C	備考
				使用機械			
表層工	半たわみ性アスファルト混合物	50	0.104 (t/m ²)	☆ ○ □ ◎	▽ ◎ ◎	× ▼	セメントミルク 12.6 l /m ² (早強) ※タックコート
基層工	アスファルト混合物 (再生粗粒)	50	0.126 (t/m ²)	☆ ○ □	▽ ◎	×	●プライムコート砂なし (1.2 l /m ²)
路盤工	再生粒度調整砕石 RM-40	150	0.191 (m ³ /m ²)	☒ ○ □ ◎	☒ ◎ 50	×	※路床転圧
					☒ ◎ 100	×	

(注) Aは舗装幅3.0m以上の場合に適用する
 Bは舗装幅3.0m未満の場合に適用する
 Cは舗装幅1.4m未満の場合に適用する (人力施工)

舗装構造図



(注) 使用機械の凡例

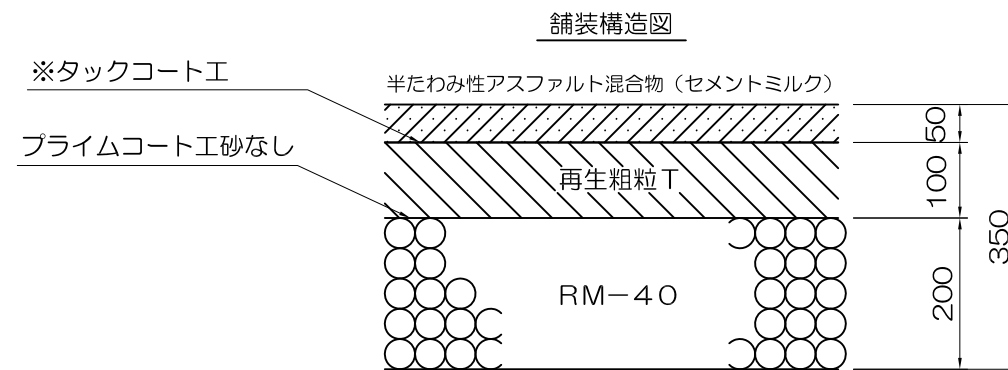
- | | |
|--------------------------------|-------------------------|
| ☆ : アスファルトフィニッシャ全自動 (2.4~6.0m) | □ : タイヤローラ (8~20t) |
| ▽ : 小型アスファルトフィニッシャ (1.4~3.0m) | ◎ : 振動ローラ (コンバインド型3~4t) |
| ☒ : ブルドーザ (3t) | ▼ : 振動コンパクタ (90R) |
| ○ : ロードローラ (10~12t) | × : タンパ (60~100kg) |

- ※ タックコート工 : アスファルト乳剤 (PK-4)
- ・交通開放する場合 : 0.8 l /m²
 - ・汚さずに数日後表層を舗設する場合 : 0.4 l /m²
 - ・アスファルト系下層の上に連続して舗設する場合 : 0

車道半たわみ性舗装 (t=5+30cm)

大分類	中分類	小分類	変数	作成年度
5000	SHTA	35	T=	H.25
舗装工	車道半たわみ性舗装	55型用	使用機械	

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数	A	B	C	備考
				使用機械			
表層工	半たわみ性アスファルト混合物	50	0.104 (t/m ²)	☆ ○ □ ◎	▽ ◎ ◎	× ▼	セメントミルク 12.6 l /m ² (早強) ※タックコート
基層工	アスファルト混合物 (再生粗粒)	100	0.251 (t/m ²)	☆ ○ □	▽ ◎	× 50	●プライムコート砂なし (1.2 l /m ²)
						× 50	
路盤工	再生粒度調整碎石 RM-40	200	0.254 (m ³ /m ²)	☒ ○ □ 100	☒ ◎ 100	× 100	※路床転圧
				☒ ○ □ ◎ 100	☒ ◎ 100	× 100	



(注) Aは舗装幅3.0m以上の場合に適用する
 Bは舗装幅3.0m未満の場合に適用する
 Cは舗装幅1.4m未満の場合に適用する (人力施工)

(注) 使用機械の凡例

- | | |
|--------------------------------|-------------------------|
| ☆ : アスファルトフィニッシャ全自動 (2.4~6.0m) | □ : タイヤローラ (8~20t) |
| ▽ : 小型アスファルトフィニッシャ (1.4~3.0m) | ◎ : 振動ローラ (コンバインド型3~4t) |
| ☒ : ブルドーザ (3t) | ▼ : 振動コンパクタ (90R) |
| ○ : ロードローラ (10~12t) | × : タンパ (60~100kg) |

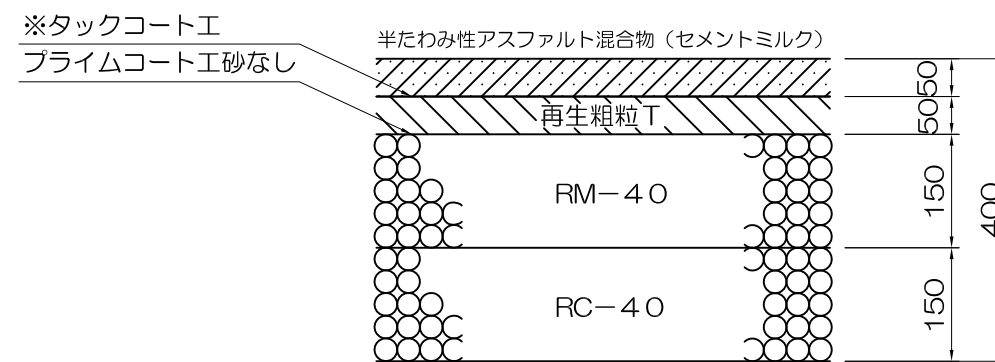
- ※ タックコート工 : アスファルト乳剤 (PK-4)
- ・交通開放する場合 : 0.8 l /m²
 - ・汚さずに数日後表層を舗設する場合 : 0.4 l /m²
 - ・アスファルト系下層の上に連続して舗設する場合 : 0

車道半たわみ性舗装 (t=5+35cm)

大分類	中分類	小分類	変数	作成年度
5000	SHTA	40	T=	H.25
舗装工	車道半たわみ性舗装	40型用	使用機械	

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数	使用機械			備考
				A	B	C	
表層工	半たわみ性アスファルト混合物	50	0.104 (t/m ²)	☆ ○ □ ◎	▽ ◎ ◎	× ▼	セメントミルク 12.6 l /m ² (早強) ※タックコート
基層工	アスファルト混合物 (再生粗粒)	50	0.126 (t/m ²)	☆ ○ □	▽ ◎	×	●プライムコート砂なし (1.2 l /m ²)
上層路盤工	再生粒度調整碎石 RM-40	150	0.191 (m ³ /m ²)	☒ ○ □	☒ ◎ 50 ☒ ◎ 100	× 50 × 100	
下層路盤工	再生クラッシュランRC-40	150	0.191 (m ³ /m ²)	☒ ○ □ ◎	☒ ◎ 50 ☒ ◎ 100	× 50 × 100	※路床転圧

舗装構造図



(注) Aは舗装幅3.0m以上の場合に適用する
 Bは舗装幅3.0m未満の場合に適用する
 Cは舗装幅1.4m未満の場合に適用する (人力施工)

(注) 使用機械の凡例

- ☆ : アスファルトフィニッシャ全自動 (2.4~6.0m)
- ▽ : 小型アスファルトフィニッシャ (1.4~3.0m)
- ☒ : ブルドーザ (3t)
- : ロードローラ (10~12t)
- : タイヤローラ (8~20t)
- ◎ : 振動ローラ (コンバインド型3~4t)
- ▼ : 振動コンパクタ (90R)
- × : タンパ (60~100kg)

※ タックコート工 : アスファルト乳剤 (PK-4)

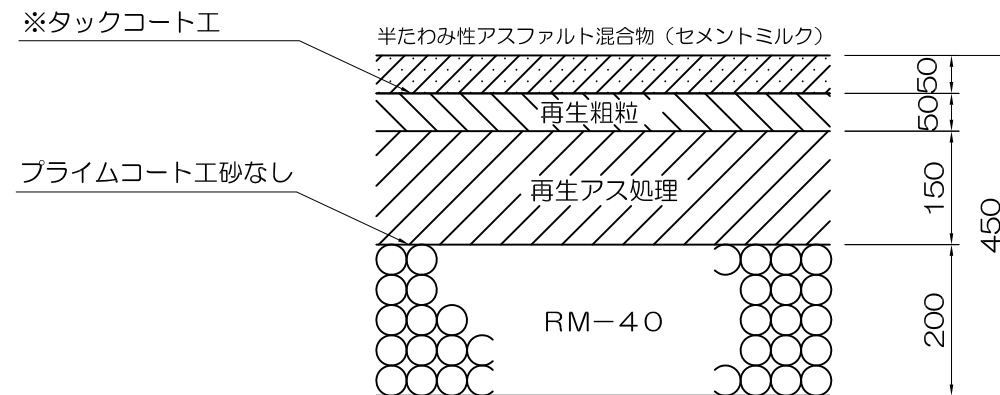
- ・交通開放する場合 : 0.8 l /m²
- ・汚さずに数日後表層を舗設する場合 : 0.4 l /m²
- ・アスファルト系下層の上に連続して舗設する場合 : 0

大分類	中分類	小分類	変数	作成年度
5000	SHTA	45	T=	H.25
舗装工	車道半たわみ性舗装	60型用	使用機械	

車道半たわみ性舗装 (t=5+40cm)

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数	A	B	C	備考
				使用機械			
表層工	半たわみ性アスファルト混合物	50	0.104 (t/m ²)	☆ ○ □ ◎	▽ ◎ ◎	× ▼	セメントミルク 12.6 l /m ² (早強) ※タックコート
基層工	アスファルト混合物 (再生粗粒)	50	0.126 (t/m ²)	☆ ○ □	▽ ◎	×	
路盤工	再生アスファルト処理混合物	150	0.374 (m ³ /m ²)	☆ ○ □ 50	▽ ◎ 50	× 50	●プライムコート砂なし (1.2 l /m ²) ※路床転圧
				☆ ○ □ 100	▽ ◎ 100	× 100	
	再生粒度調整碎石 RM-40	200	0.254 (m ³ /m ²)	☒ ○ □ 100	☒ ◎ 100	× 100	
				☒ ○ □ ◎ 100	☒ ◎ 100	× 100	

舗装構造図



(注) Aは舗装幅2.4m以上の場合に適用する
 Bは舗装幅2.4m未満の場合に適用する
 Cは舗装幅1.6m未満の場合に適用する (人力施工)

(注) 使用機械の凡例

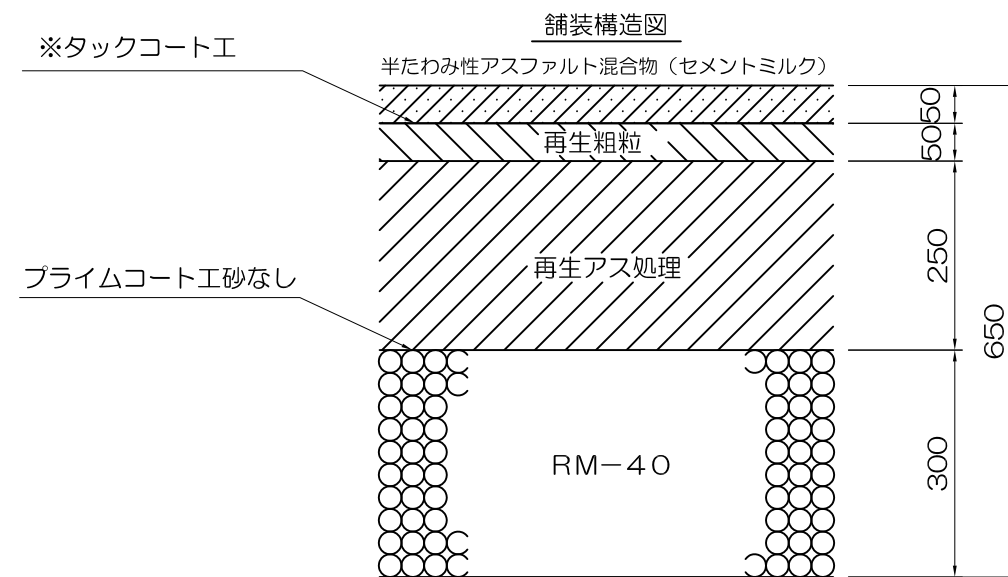
- ☆ : アスファルトフィニッシャ全自動 (2.4~6.0m)
- ▽ : 小型アスファルトフィニッシャ (1.4~3.0m)
- ☒ : ブルドーザ (3t)
- : ロードローラ (10~12t)
- : タイヤローラ (8~20t)
- ◎ : 振動ローラ (コンバインド型3~4t)
- ▼ : 振動コンパクタ (90R)
- × : タンパ (60~100kg)

- ※ タックコート工 : アスファルト乳剤 (PK-4)
- ・交通開放する場合 : 0.8 l /m²
 - ・汚さずに数日後表層を舗設する場合 : 0.4 l /m²
 - ・アスファルト系下層の上に連続して舗設する場合 : 0

車道半たわみ性舗装 (t=5+60cm)

大分類	中分類	小分類	変数	作成年度
5000	SHTA	65	T=	H.25
舗装工	車道半たわみ性舗装	70型用	使用機械	

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数	使用機械			備考
				A	B	C	
表層工	半たわみ性アスファルト混合物	50	0.104 (t/m ²)	☆ ○ □ ◎	▽ ◎ ◎	× ▼	セメントミルク 12.6 l /m ² (早強) ※タックコート
基層工	アスファルト混合物 (再生粗粒)	50	0.126 (t/m ²)	☆ ○ □	▽ ◎	×	
路盤工	再生アスファルト処理混合物	250	0.623 (t/m ²)	☆ ○ □ 50	▽ ◎ 50	× 50	●プライムコート砂なし (1.2 l /m ²) ※路床転圧
				☆ ○ □ 100	▽ ◎ 100	× 100	
				☆ ○ □ 100	▽ ◎ 100	× 100	
	再生粒度調整碎石 (RM-40)	300	0.381 (m ³ /m ²)	☒ ○ □ 150	☒ ◎ 100	× 100	
☒ ○ □ 150 ◎				☒ ◎ 100	× 100		



(注) Aは舗装幅3.0m以上の場合に適用する
 Bは舗装幅3.0m未満の場合に適用する
 Cは舗装幅1.4m未満の場合に適用する (人力施工)

(注) 使用機械の凡例

- | | |
|--------------------------------|-------------------------|
| ☆ : アスファルトフィニッシャ全自動 (2.4~6.0m) | □ : タイヤローラ (8~20t) |
| ▽ : 小型アスファルトフィニッシャ (1.4~3.0m) | ◎ : 振動ローラ (コンバインド型3~4t) |
| ☒ : ブルドーザ (3t) | ▼ : 振動コンパクタ (90R) |
| ○ : ロードローラ (10~12t) | × : タンパ (60~100kg) |

- ※ タックコート工 : アスファルト乳剤 (PK-4)
- ・交通開放する場合 : 0.8 l /m²
 - ・汚さずに数日後表層を舗設する場合 : 0.4 l /m²
 - ・アスファルト系下層の上に連続して舗設する場合 : 0

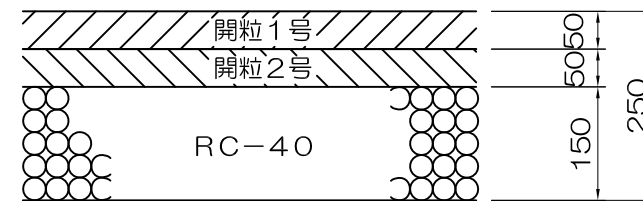
車道アスコン透水性舗装 (t=25cm)

大分類	中分類	小分類	変数	作成年度
5000	S A T	25	T=	H.25
舗装工	車道アスコン透水性舗装	40型用	使用機械	

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数	A			B			C			備考
				☆	○	□	▽	◎	×	▽	◎	×	
表層工	アスファルト混合物 (開粒1号)	50	0.110 (t/m ²)	☆	○	□	▽	◎		×			
基層工	アスファルト混合物 (開粒2号)	50	0.107 (t/m ²)	☆	○	□	▽	◎		×			
路盤工	再生クラッシャーRC-40	150	0.191 (m ³ /m ²)	☒	○	□	☒	◎	50	×	50	※路床転圧	
							☒	◎	100	×	100		

(注) Aは舗装幅3.0m以上の場合に適用する
 Bは舗装幅3.0m未満の場合に適用する
 Cは舗装幅1.4m未満の場合に適用する (人力施工)

舗装構造図



(注) 使用機械の凡例

- | | |
|--------------------------------|-------------------------|
| ☆ : アスファルトフィニッシャ全自動 (2.4~6.0m) | □ : タイヤローラ (8~20t) |
| ▽ : 小型アスファルトフィニッシャ (1.4~3.0m) | ◎ : 振動ローラ (コンバインド型3~4t) |
| ☒ : ブルドーザ (3t) | ▼ : 振動コンパクタ (90R) |
| ○ : ロードローラ (10~12t) | × |

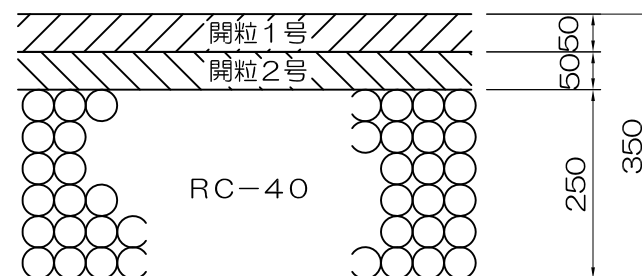
車道アスコン透水性舗装 (t = 35 cm)

大分類	中分類	小分類	変数	作成年度
5000	S A T	35	T=	H.25
舗装工	車道アスコン透水性舗装	40型用	使用機械	

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数	A	B	C	備考
				使用機械			
表層工	アスファルト混合物 (開粒1号)	50	0.110 (t/m ²)	☆ ○ □	▽ ◎	×	
基層工	アスファルト混合物 (開粒2号)	50	0.107 (t/m ²)	☆ ○ □	▽ ◎	×	
路盤工	再生クラッシュランRC-40	250	0.318 (m ³ /m ²)	☒ ○ □ ¹⁰⁰	☒ ◎ 50	×	50
				☒ ○ □ ¹⁵⁰	☒ ◎ 100	×	100
				☒ ○ □ ¹⁵⁰	☒ ◎ 100	×	100

(注) Aは舗装幅3.0m以上の場合に適用する
 Bは舗装幅3.0m未満の場合に適用する
 Cは舗装幅1.4m未満の場合に適用する (人力施工)

舗装構造図



(注) 使用機械の凡例

- ☆ : アスファルトフィニッシャ全自動 (2.4~6.0m)
- ▽ : 小型アスファルトフィニッシャ (1.4~3.0m)
- ☒ : ブルドーザ (3t)
- : ロードローラ (10~12t)
- : タイヤローラ (8~20t)
- ◎ : 振動ローラ (コンバインド型3~4t)
- ▼ : 振動コンパクタ (90R)
- ×

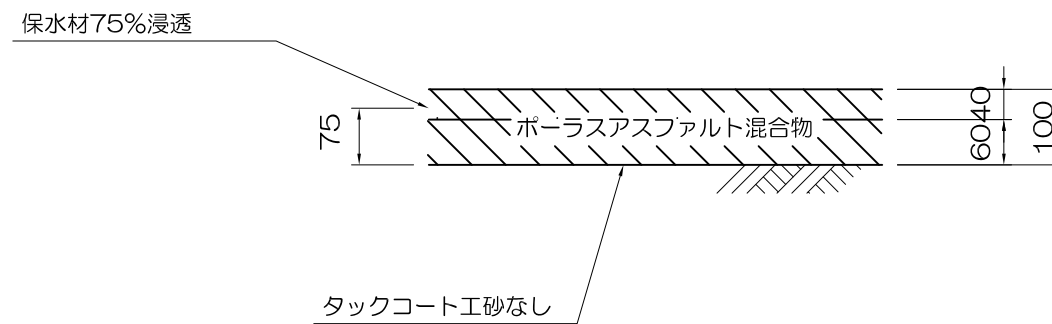
車道保水性アスコン舗装 (t=10cm)

大分類	中分類	小分類	変数	作成年度
5000	SHA	10	T=	H.25
舗装工	車道保水性アスコン舗装	カバー切削カバー	使用機械	

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数 量	使用機械			備考
				A	B	C	
表層工	ポーラスアスファルト混合物(13mm)	40	0.084 (t/m ²)	☆ ○ □	▽ ◎	×	保水材75%浸透
	ポーラスアスファルト混合物(20mm)	60	0.125 (t/m ²)	☆ ○ □	▽ ◎	×	●タックコート PKR-T (0.8 l /m ²)

(注) Aは舗装幅3.0m以上の場合に適用する
 Bは舗装幅3.0m未満の場合に適用する
 Cは舗装幅1.4m未満の場合に適用する(人力施工)

舗装構造図



(注) 使用機械の凡例

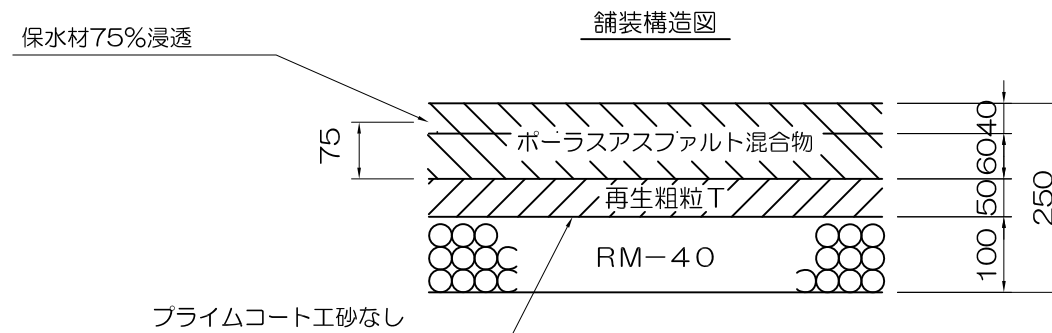
- ☆ : アスファルトフィニッシャ全自動 (2.4~6.0m)
- ▽ : 小型アスファルトフィニッシャ (1.4~3.0m)
- ☒ : ブルドーザ (3t)
- : ロードローラ (10~12t)
- : タイヤローラ (8~20t)
- ◎ : 振動ローラ (コンバインド型3~4t)
- ×

車道保水性アスコン舗装 (t=25cm)

大分類	中分類	小分類	変数	作成年度
5000	SHA	25	T=	H.25
舗装工	車道保水性アスコン舗装	40型用	使用機械	

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数 量	使用機械			備考
				A	B	C	
表層工	ポーラスアスファルト混合物(13mm)	40	0.084 (t/m ²)	☆ ○ □	▽ ◎	×	保水材75%浸透
	ポーラスアスファルト混合物(20mm)	60	0.125 (t/m ²)	☆ ○ □	▽ ◎	×	
基層工	再生アスファルト混合物(粗粒T)	50	0.126 (t/m ²)	☆ ○ □	▽ ◎	×	●プライムコート砂なし(1.2ℓ/m ²)
路盤工	再生粒度調整碎石 RM-40	100	0.127 (m ³ /m ²)	☒ ○ □ ◎	☒ ◎ ◎ 100	×	※路床転圧

(注) Aは舗装幅3.0m以上の場合に適用する
 Bは舗装幅3.0m未満の場合に適用する
 Cは舗装幅1.4m未満の場合に適用する(人力施工)



(注) 使用機械の凡例

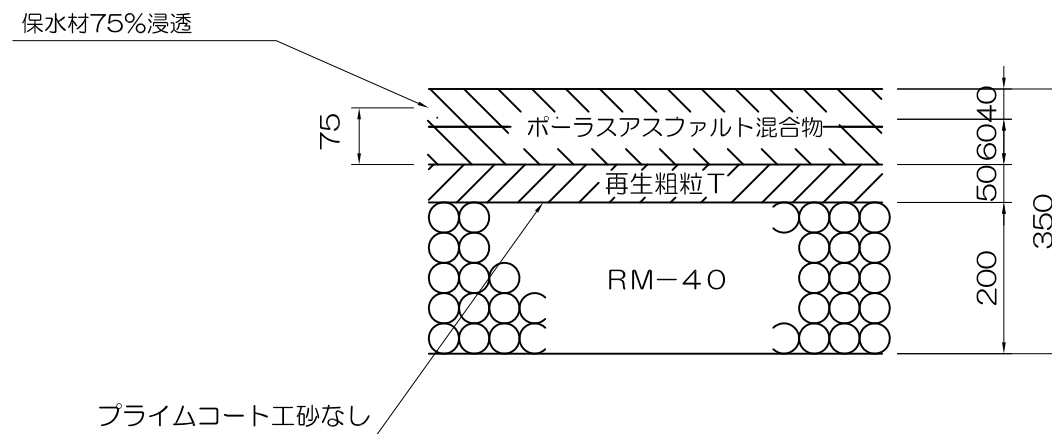
- ☆ : アスファルトフィニッシャ全自動 (2.4~6.0m)
- : タイヤローラ (8~20t)
- ▽ : 小型アスファルトフィニッシャ (1.4~3.0m)
- ◎ : 振動ローラ (コンバインド型3~4t)
- ☒ : ブルドーザ (3t)
- ×
- : ロードローラ (10~12t)

車道保水性アスコン舗装 (t=35cm)

大分類	中分類	小分類	変数	作成年度
5000	SHA	35	T=	H.25
舗装工	車道保水性アスコン舗装	55型用	使用機械	

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数	使用機械			備考
				A	B	C	
表層工	ポーラスアスファルト混合物(13mm)	40	0.084 (t/m ²)	☆ ○ □	▽ ◎	×	保水材75%浸透
	ポーラスアスファルト混合物(20mm)	60	0.125 (t/m ²)	☆ ○ □	▽ ◎	×	
基層工	再生アスファルト混合物(粗粒T)	50	0.126 (t/m ²)	☆ ○ □	▽ ◎	×	●プライムコート砂なし(1.2ℓ/m ²)
路盤工	再生粒度調整碎石 RM-40	200	0.254 (m ³ /m ²)	☒ ○ □ 100	☒ ◎ 100	×	※路床転圧
				☒ ○ □ ◎ 100	☒ ◎ ◎ 100	×	

舗装構造図



(注) Aは舗装幅3.0m以上の場合に適用する
 Bは舗装幅3.0m未満の場合に適用する
 Cは舗装幅1.4m未満の場合に適用する(人力施工)

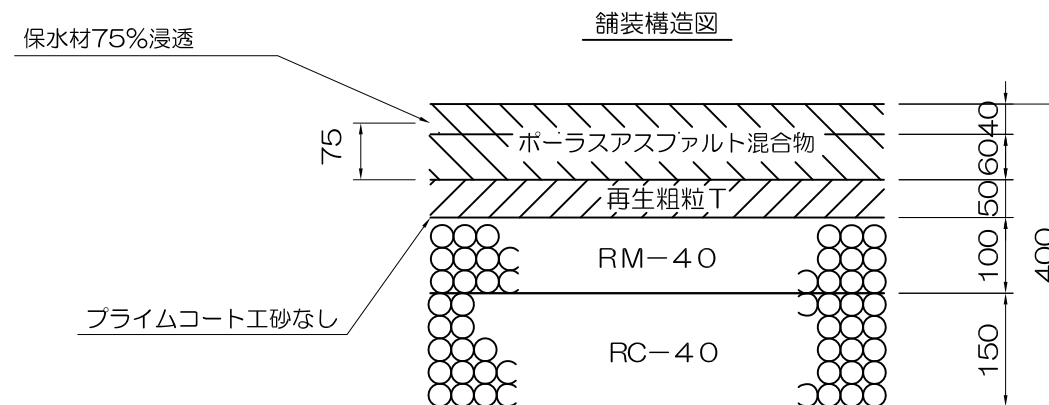
(注) 使用機械の凡例

- ☆ : アスファルトフィニッシャ全自動(2.4~6.0m)
- ▽ : 小型アスファルトフィニッシャ(1.4~3.0m)
- ☒ : ブルドーザ(3t)
- : ロードローラ(10~12t)
- : タイヤローラ(8~20t)
- ◎ : 振動ローラ(コンバインド型3~4t)
- ×

車道保水性アスコン舗装 (t=40cm)

大分類	中分類	小分類	変数	作成年度
5000	SHA	40	T=	H.25
舗装工	車道保水性アスコン舗装	40型用	使用機械	

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数	使用機械			備考
				A	B	C	
表層工	ポーラスアスファルト混合物(13mm)	40	0.084 (t/m ²)	☆ ○ □	▽ ◎	×	保水材75%浸透
	ポーラスアスファルト混合物(20mm)	60	0.125 (t/m ²)	☆ ○ □	▽ ◎	×	
基層工	再生アスファルト混合物(粗粒T)	50	0.126 (t/m ²)	☆ ○ □	▽ ◎	×	●プライムコート砂なし(1.2 l/m ²)
上層路盤工	再生粒度調整碎石 RM-40	100	0.127 (m ³ /m ²)	☒ ○ □	☒ ◎ 100	×	
下層路盤工	再生クラッシュランRC-40	150	0.191 (m ³ /m ²)	☒ ○ □	☒ ◎ 50	×	※路床転圧
					☒ ◎ 100	×	



(注) Aは舗装幅3.0m以上の場合に適用する
 Bは舗装幅3.0m未満の場合に適用する
 Cは舗装幅1.4m未満の場合に適用する(人力施工)

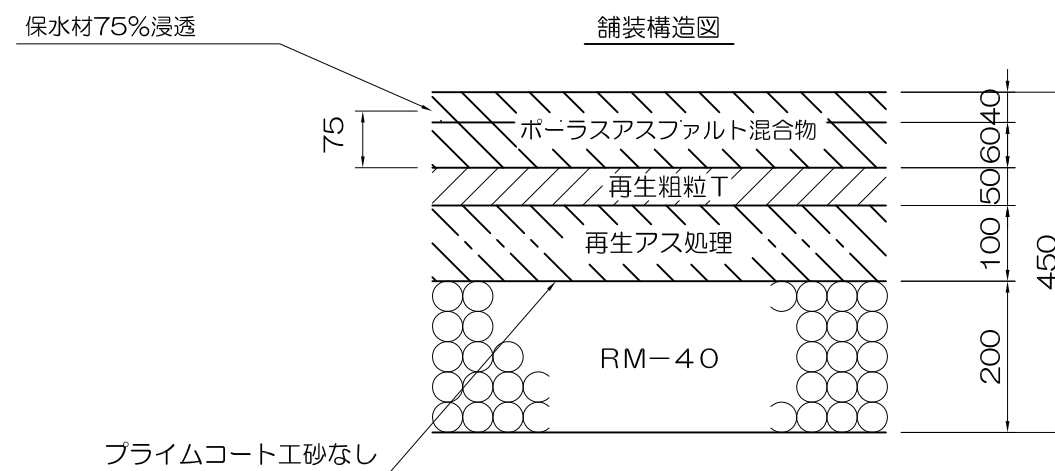
(注) 使用機械の凡例

- ☆ : アスファルトフィニッシャ全自動(2.4~6.0m)
- ▽ : 小型アスファルトフィニッシャ(1.4~3.0m)
- ☒ : ブルドーザ(3t)
- : ロードローラ(10~12t)
- : タイヤローラ(8~20t)
- ◎ : 振動ローラ(コンバインド型3~4t)
- ×

車道保水性アスコン舗装 (t=45cm)

大分類	中分類	小分類	変数	作成年度
5000	SHA	45	T=	H.25
舗装工	車道保水性アスコン舗装	60型用	使用機械	

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数	使用機械			備考
				A	B	C	
表層工	ポーラスアスファルト混合物(13mm)	40	0.084 (t/m ²)	☆ ○ □	▽ ◎	×	保水材75%浸透
	ポーラスアスファルト混合物(20mm)	60	0.125 (t/m ²)	☆ ○ □	▽ ◎	×	
基層工	再生アスファルト混合物(粗粒T)	50	0.126 (t/m ²)	▽ ○ □	▽ ◎	×	
路盤工	再生アスファルト処理混合物	100	0.249 (t/m ²)	▽ ○ □	▽ ◎	×	●プライムコート砂なし(1.2ℓ/m ²)
	再生粒度調整砕石 RM-40	200	0.254 (m ³ /m ²)	☒ ○ □	☒ ◎	×	100
				☒ ○ □ ◎	☒ ◎ ◎	×	100
							※路床転圧



(注) Aは舗装幅3.0m以上の場合に適用する
 Bは舗装幅3.0m未満の場合に適用する
 Cは舗装幅1.4m未満の場合に適用する(人力施工)

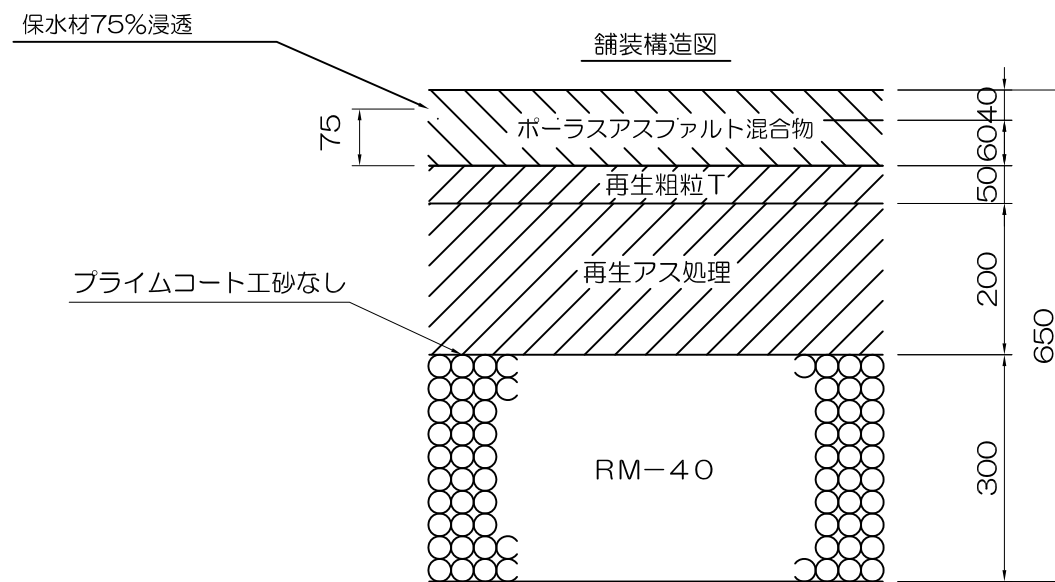
(注) 使用機械の凡例

- ☆ : アスファルトフィニッシャ全自動(2.4~6.0m)
- : タイヤローラ(8~20t)
- ▽ : 小型アスファルトフィニッシャ(1.4~3.0m)
- ◎ : 振動ローラ(コンバインド型3~4t)
- ☒ : ブルドーザ(3t)
- ×
- : ロードローラ(10~12t)

車道保水性アスコン舗装 (t=65cm)

大分類	中分類	小分類	変数	作成年度
5000	SHA	65	T=	H.25
舗装工	車道保水性アスコン舗装	70型用	使用機械	

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数	使用機械			備考
				A	B	C	
表層工	ポーラスアスファルト混合物(13mm)	40	0.084 (t/m ²)	☆ ○ □	▽ ◎	×	保水材75%浸透
	ポーラスアスファルト混合物(20mm)	60	0.125 (t/m ²)	☆ ○ □	▽ ◎	×	
基層工	再生アスファルト混合物(粗粒T)	50	0.126 (t/m ²)	☆ ○ □ 50	▽ ◎ 50	×	50
路盤工	再生アスファルト処理混合物	200	0.498 (t/m ²)	☆ ○ □ ¹⁰⁰	▽ ◎ ¹⁰⁰	×	100
				☆ ○ □ ¹⁰⁰	▽ ◎ ¹⁰⁰	×	100
	再生粒度調整碎石 (RM-40)	300	0.381 (m ³ /m ²)	☒ ○ □ ¹⁵⁰	☒ ◎ ¹⁰⁰	×	100
				☒ ○ □ ¹⁵⁰	☒ ◎ ¹⁰⁰	×	100



(注) Aは舗装幅3.0m以上の場合に適用する
 Bは舗装幅3.0m未満の場合に適用する
 Cは舗装幅1.4m未満の場合に適用する(人力施工)

(注) 使用機械の凡例

- ☆ : アスファルトフィニッシャ全自動 (2.4~6.0m)
- ▽ : 小型アスファルトフィニッシャ (1.4~3.0m)
- ☒ : ブルドーザ (3t)
- : ロードローラ (10~12t)
- : タイヤローラ (8~20t)
- ◎ : 振動ローラ (コンバインド型3~4t)
- × : タンパ (60~100kg)

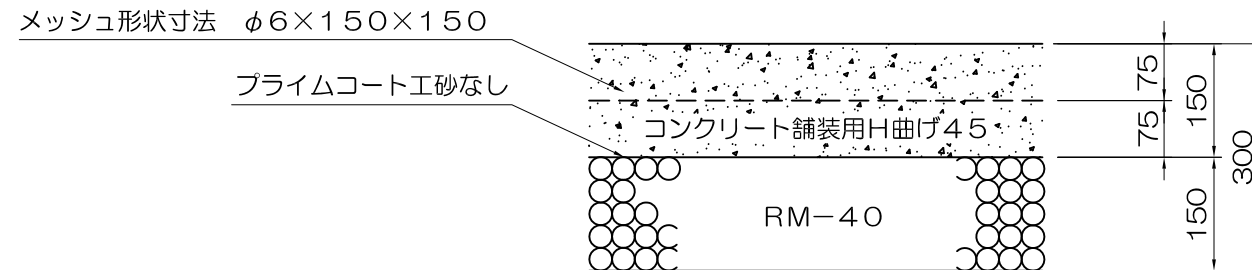
車道コンクリート舗装 (t=30cm)

大分類	中分類	小分類	変数	作成年度
5000	S C	30	T=	H.23
舗装工	車道コンクリート舗装	総厚	使用機械	

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数	使用機械			備考
				A	B	C	
表層工	コンクリート舗装用H曲げ45	150	0.156 (m ³ /m ²)	パイプレイター			真空処理, 表面仕上げ, メッシュ ●プライムコート砂なし (1.2 l/m ²)
路盤工	再生粒度調整碎石 RM-40	150	0.191 (m ³ /m ²)	☒ ○ □ 50	☒ ◎ 50	× 50	※路床転圧
				☒ ○ □ 100 ◎ 100	☒ ◎ 100 ◎ 100	× 100 × 100	

(注) Aは舗装幅3.0m以上の場合に適用する
 Bは舗装幅3.0m未満の場合に適用する
 Cは舗装幅1.4m未満の場合に適用する(人力施工)

舗装構造図



(注) 使用機械の凡例

- ☒ : ブルドーザ (3t)
- : ロードローラ (10~12t)
- : タイヤローラ (8~20t)
- ◎ : 振動ローラ (コンバインド型3~4t)
- × : タンパ (60~100kg)

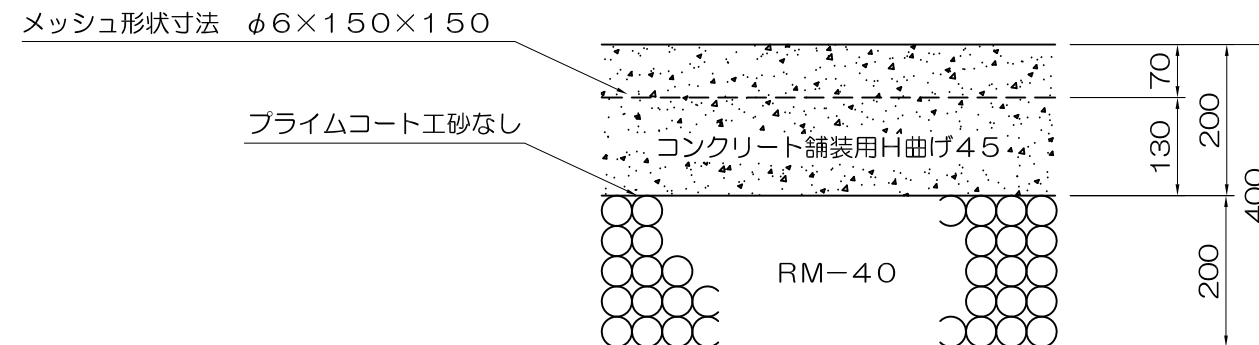
車道コンクリート舗装 (t=40cm)

大分類	中分類	小分類	変数	作成年度
5000	S C	40	T=	H.23
舗装工	車道コンクリート舗装	総厚	使用機械	

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数	A	B	C	備考
				使用機械			
表層工	コンクリート舗装用H曲げ45	200	0.208 (m ³ /m ²)	パイプレイター			真空処理, 表面仕上げ, メッシュ ●プライムコート砂なし (1.2 l /m ²)
路盤工	再生粒度調整碎石 RM-40	200	0.254 (m ³ /m ²)	☒ ○ □ 100	☒ ◎ 100	× 100	※路床転圧
				☒ ○ □ ◎ 100	◎ 100 ☒ ◎ 100	× 100 × 100	

(注) Aは舗装幅3.0m以上の場合に適用する
 Bは舗装幅3.0m未満の場合に適用する
 Cは舗装幅1.4m未満の場合に適用する(人力施工)

舗装構造図



(注) 使用機械の凡例

- ☒ : ブルドーザ (3t)
- : ロードローラ (10~12t)
- : タイヤローラ (8~20t)
- ◎ : 振動ローラ (コンバインド型3~4t)
- × : タンパ (60~100kg)